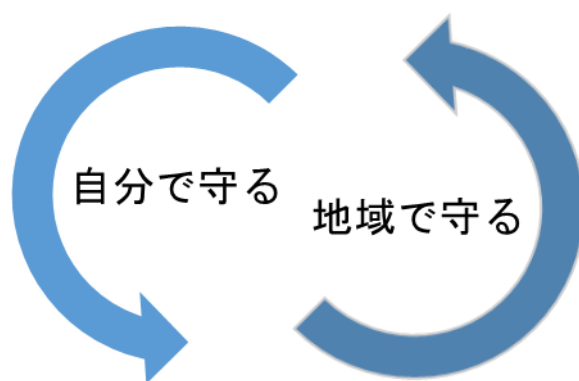


保存してご利用願います。

障がいのある方の災害対応てびき ～災害から身を守るために～



福島市障がい者地域生活支援協議会
防災支援部会

目次

□ はじめに

□ 使い方

□ 障がいのある方をサポートするとき

- 視覚障がいのある方
- 聴覚障がいのある方
- 肢体不自由のある方
- 高次脳機能障がいのある方
- 内部障がい（心臓）のある方
- 内部障がい（腎臓）のある方
- 内部障がい（呼吸器）のある方
- 内部障がい（膀胱または直腸）のある方
- 内部障がい（小腸）のある方
- 内部障がい（免疫）のある方
- 難病のある方
- 知的障がいのある方
- 精神障がいのある方
- 自閉症のある方

□ 資料

はじめに

平成23年3月の東日本大震災においては、非常に多くの命が失われました。中でも、障がいのある方の死亡率は被災住民全体の死亡率の約2倍との調査もなされています。在宅や地域で生活をしている障がいのある方のうち、避難行動や避難生活のために支援を必要とする方に対して必要な情報や支援が届かず、避難ができない・避難すべきか判断できないという状況で避難を諦めてしまい、多くの犠牲者が出てしまいました。

地震だけではなく、火災や台風、雪害等、私たちはいつ災害が起きてもおかしくない場所で生活をしています。災害の発生を止めることはできませんが、事前に防災対策をしておくことで、被害を軽減させることはできます。いざというときに、あなたや地域の仲間を守るため、日頃から防災対策を行う必要があります。

本てびきは、障がいのある方や家族の方が日頃から確認すべきこと、災害時に気をつけることや支援するときのポイント及び障がいについて理解してほしいことを障がい別に記載してあります。

次ページの「使い方」を参考に、災害時に必要な支援を受けられるよう、また、適切な避難行動が取れるよう活用してください。

防災支援部会とは、福島市障がい者地域生活支援協議会に設置されている専門部会の1つです。東日本大震災の災害弱者に対する検証が不十分であるという反省を踏まえ、平成25年11月に設置されました。

本てびきは、防災支援部会の委員が市内の複数の障がい者団体と意見交換を行いながら作成しました。

ご協力いただきました皆様に感謝いたしますとともに、このてびきが障がいのある方やご家族、支援に関わる多くの人に活用していただければ幸いです。

使い方

□ 支援者の方へ

障がいのある方は、災害時に一人で避難できず、誰かの援助が必要になることが多いので、地域の方の力が非常に重要です。日頃から、町内等に支援を必要としている方がいないか気をつけ、コミュニケーションを図りながら災害時に備えましょう。

また、**支援者用**のページには、障がいごとに特性や避難行動・避難生活支援時に気をつけることが記されていますので、可能な範囲でご支援いただきますようお願いいたします。

なお、**支援者用**のページの「本人・家族等から支援者へ」の欄に記入してある障がいの状況等は個人情報ですので、管理には気をつけてください。

□ 本人・家族の方へ

支援者用のページは、災害時に支援してくださる方に自分の障がいを理解してもらうために活用してください。なお、障がいの状況は一人ひとり様々ですので、「本人・家族等から支援者へ」の欄に、ご自身の障がいの状況や特別気をつけてほしいことを記入し、普段からコミュニケーションを図りながら情報を共有しておきましょう。

本人・家族用のページは、関係のある障がい部分を抜き出し、ご自宅等の目に付くところに貼り付けて、非常時持出品の確認や平常時からできる対策を行うよう心がけましょう。また、災害発生時に速やかに避難できるよう自分に合った避難行動を確認しておきましょう。

てびきは福島市のホームページ(<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>)
にも掲載しており、ダウンロードできますのでご活用ください。